

漁業の仕事

3. [REDACTED]

1. 調べた理由

埼玉県には海がないので、漁業の仕事を調べることにしました。

2. 調べ方

→ 本で調べました。

3. 調べて分かったこと

(1) 市場での魚の競売

市場での魚の競売は昼の12時で、漁舟台はその時間を考えて、とった魚を港に運ぶそうです。漁業の人は時間も考えなさいけないなんて大変だな〜と思いました。

(2) 港に着いたら...

舟台が港に着いたら、まず舟台が港から離れないようにロープを引っ張り、岸壁に固定します。岸壁のどこに固定するかを矢張りしたい!

(3) かごの名札に名まえ

魚の入ったかごに、とった漁舟台がわかるように名札に名まえを書いて入れるそうです。名札なんてあるんですねと思いました。

(4) 運営

たくさん入って運営される。どのくらいの人数なんだろう?

(5) 漁法は?

漁法は主に、小型底曳網、機舟台船曳網、一本釣りです。瀬戸内海の諸島漁法をしています。こんなにあるとは思わなかった。

4. 感想

漁業の仕事は思っていたより多くてびっくりしました。本当はもっとあったらいいけど... おうんけになりました。これから夏長を頑張ります。

調べたきっかけがすばらしいですね。埼玉県では漁業の仕事を見ることができません。だからこそ、調べてくれました。勉強になりました。